

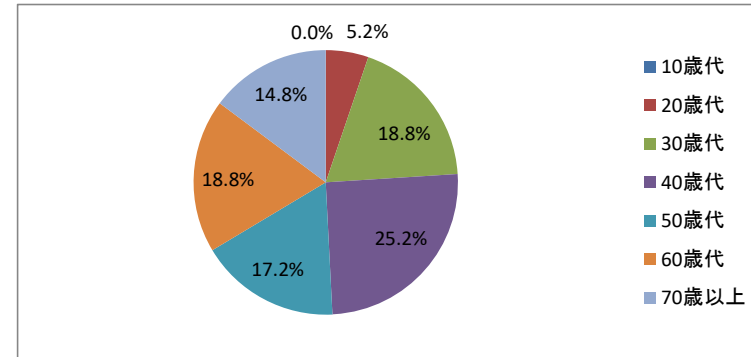
## 第10回 金沢の工芸に関するアンケート

【アンケート実施期間】 令和2年12月7日～令和2年12月21日

【アンケートの目的】 金沢の工芸に対する関心、使用状況等について、市民の皆様のご意見等をお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。

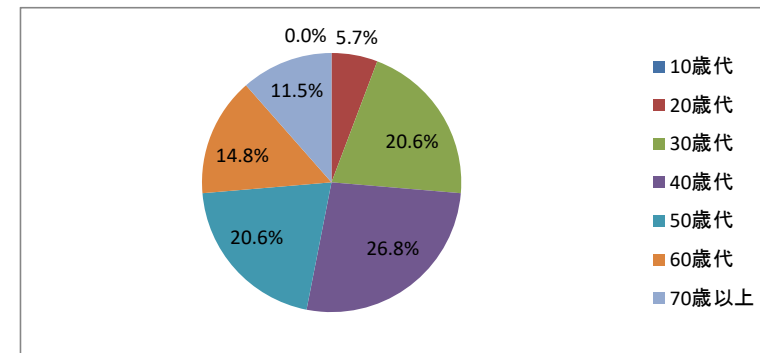
【対象者数】 250 名

内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	13	5.2
30歳代	47	18.8
40歳代	63	25.2
50歳代	43	17.2
60歳代	47	18.8
70歳以上	37	14.8
計	250	100.0



【回答者数】 209 名

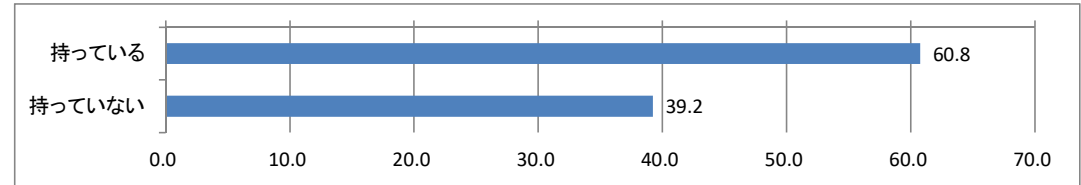
内訳	人数	%
10歳代	0	0.0
20歳代	12	5.7
30歳代	43	20.6
40歳代	56	26.8
50歳代	43	20.6
60歳代	31	14.8
70歳以上	24	11.5
計	209	100.0



【回答率】 83.6 %

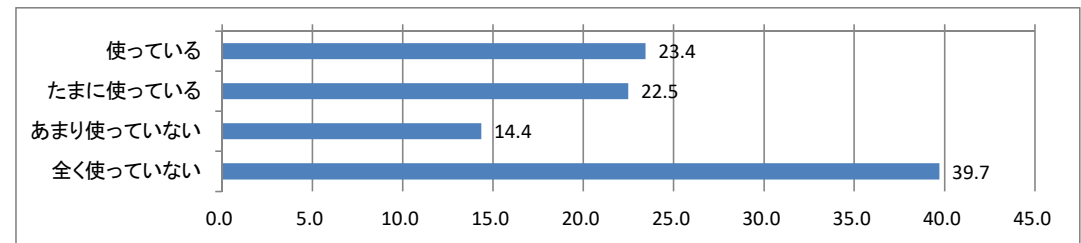
問1 金沢の工芸品をお持ちですか

回答	人数	%
持っている	127	60.8
持っていない	82	39.2



問2 日頃から金沢の工芸品を使っていますか

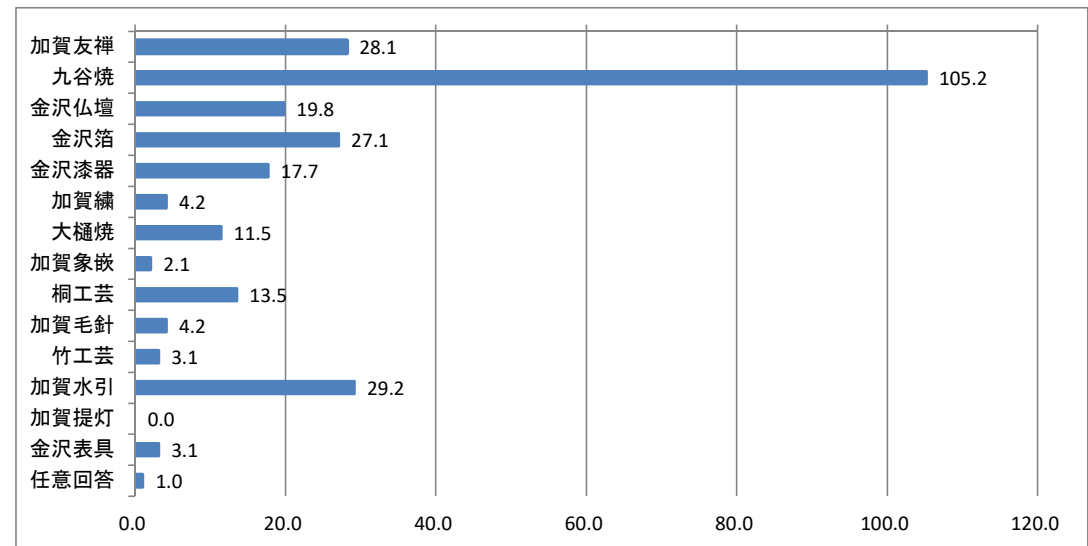
回答	人数	%
使っている	49	23.4
たまに使っている	47	22.5
あまり使っていない	30	14.4
全く使っていない	83	39.7



問3 (問2で「使っている」「たまに使っている」と答えた人) 日頃使っている金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

n= 96

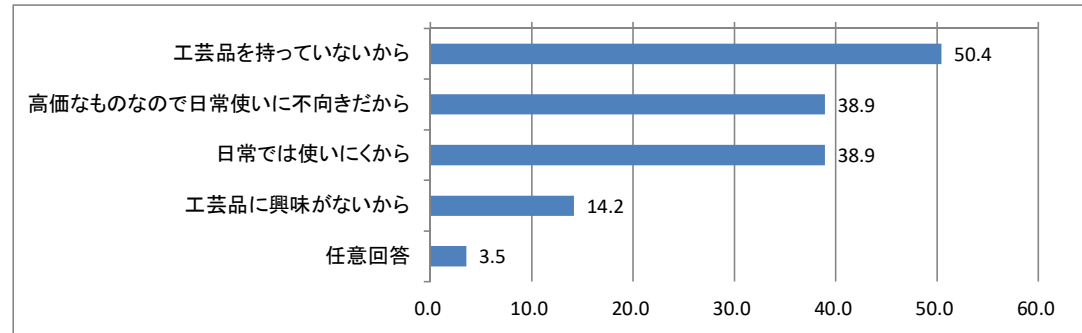
回答	人数	%
加賀友禅	27	28.1
九谷焼	101	105.2
金沢仏壇	19	19.8
金沢箔	26	27.1
金沢漆器	17	17.7
加賀繡	4	4.2
大樋焼	11	11.5
加賀象嵌	2	2.1
桐工芸	13	13.5
加賀毛針	4	4.2
竹工芸	3	3.1
加賀水引	28	29.2
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	3	3.1
任意回答 ・つまみ細工	1	1.0



問4 (問2で「あまり使っていない」「全く使っていない」と答えた人) 金沢の工芸品を使わない理由は何ですか (複数選択可)

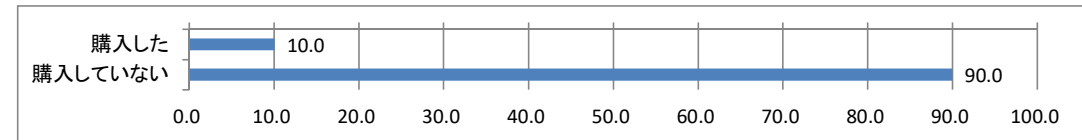
n= 113

回答	人数	%
工芸品を持っていないから	57	50.4
高価なものなので日常使いに不向き	44	38.9
日常では使いにくから	44	38.9
工芸品に興味がないから	16	14.2
任意回答 ・仏壇だから ・使う機会がない (3人)	4	3.5



問5 この1年間に自分用に金沢の工芸品を購入しましたか

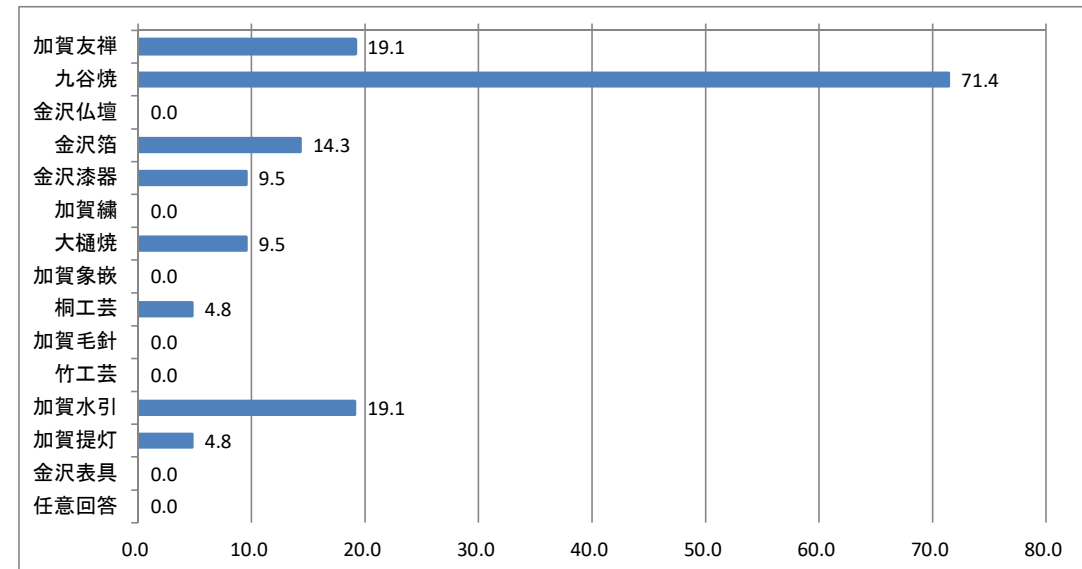
回答	人数	%
購入した	21	10.0
購入していない	188	90.0



問6 (問5で「購入した」と答えた人) 購入した金沢の工芸品はどれですか (複数選択可)

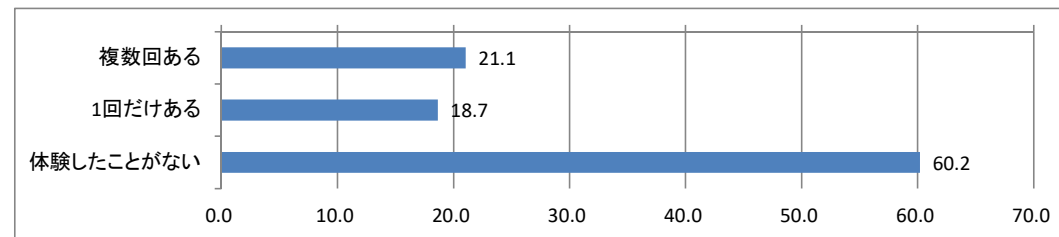
n= 21

回答	人数	%
加賀友禅	4	19.1
九谷焼	15	71.4
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	3	14.3
金沢漆器	2	9.5
加賀繡	0	0.0
大樋焼	2	9.5
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	1	4.8
加賀毛針	0	0.0
竹工芸	0	0.0
加賀水引	4	19.1
加賀提灯	1	4.8
金沢表具	0	0.0
任意回答	0	0.0



問7 金沢の工芸品を制作する体験をしたことはありますか

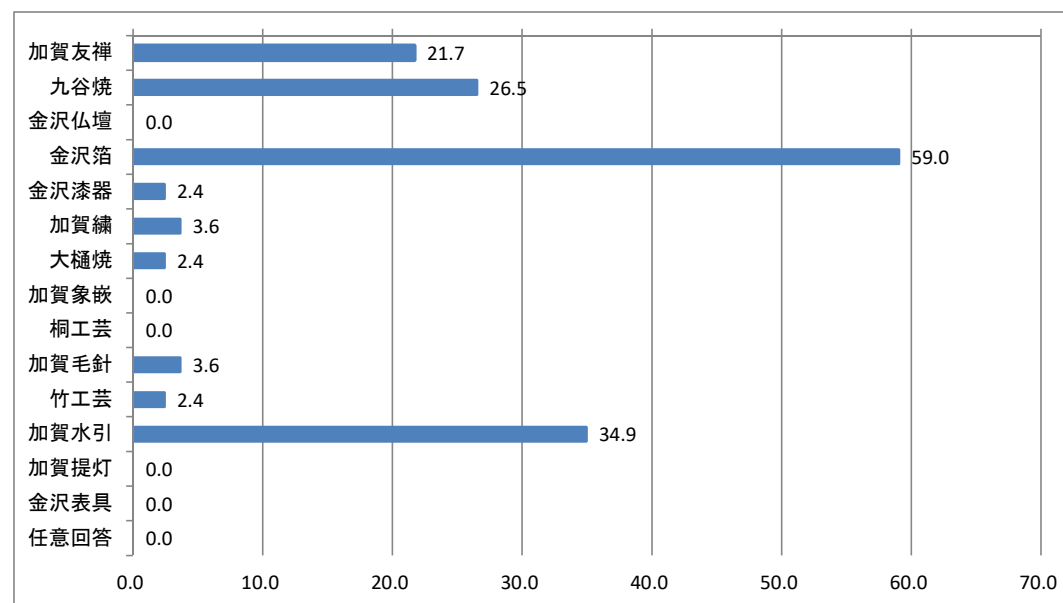
回答	人数	%
複数回ある	44	21.1
1回だけある	39	18.7
体験したことがない	126	60.2



問8 (問7で「複数回ある」「1回だけある」と答えた人) どの分野の工芸体験をしましたか (複数選択可)

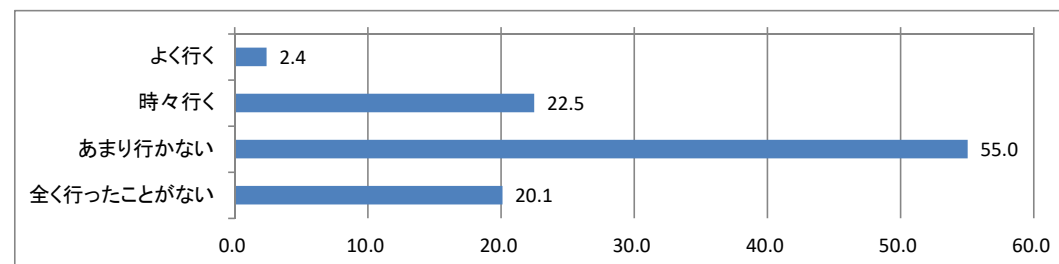
n= 83

回答	人数	%
加賀友禅	18	21.7
九谷焼	22	26.5
金沢仏壇	0	0.0
金箔箔	49	59.0
金沢漆器	2	2.4
加賀繡	3	3.6
大樋焼	2	2.4
加賀象嵌	0	0.0
桐工芸	0	0.0
加賀毛針	3	3.6
竹工芸	2	2.4
加賀水引	29	34.9
加賀提灯	0	0.0
金沢表具	0	0.0
任意回答	0	0.0



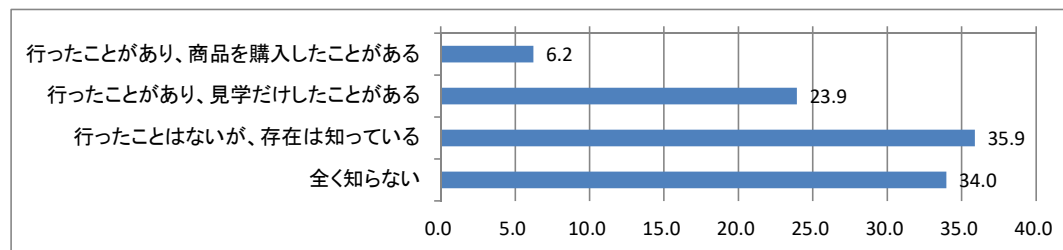
問9 ギャラリーなど工芸品を取り扱うお店に行くことはありますか

回答	人数	%
よく行く	5	2.4
時々行く	47	22.5
あまり行かない	115	55.0
全く行ったことがない	42	20.1



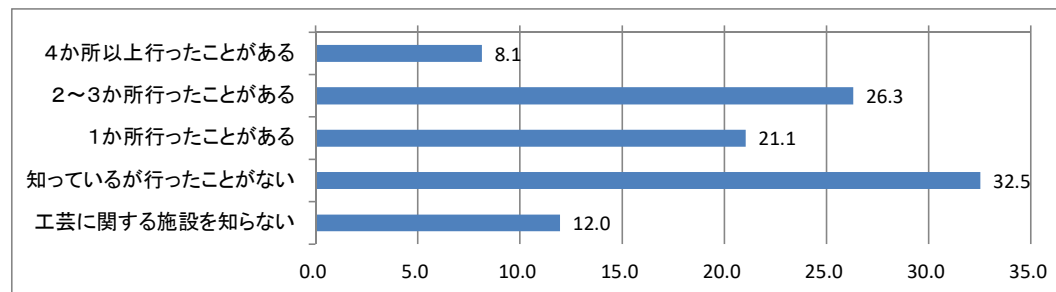
問10 金沢・クラフト広坂に行ったことはありますか

回答	人数	%
行ったことがあり、商品を購入した	13	6.2
行ったことがあり、見学だけした	50	23.9
行ったことはないが、存在は知って	75	35.9
全く知らない	71	34.0



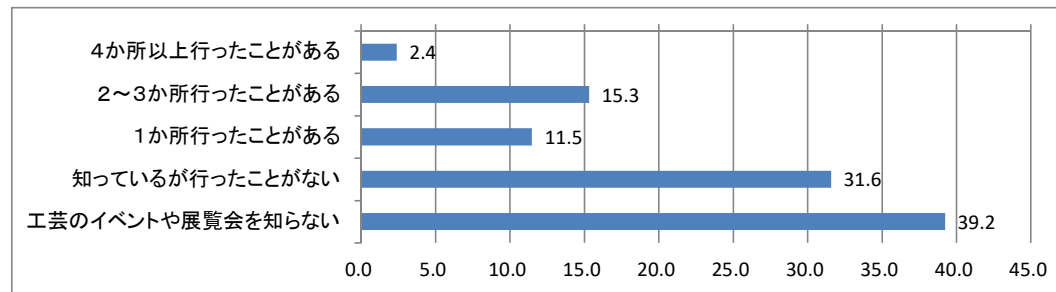
問11 工芸に関する施設（県立伝統産業工芸館、安江金箔工芸館、中村記念美術館、加賀友禅会館など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	17	8.1
2～3か所行ったことがある	55	26.3
1か所行ったことがある	44	21.1
知っているが行ったことがない	68	32.5
工芸に関する施設を知らない	25	12.0



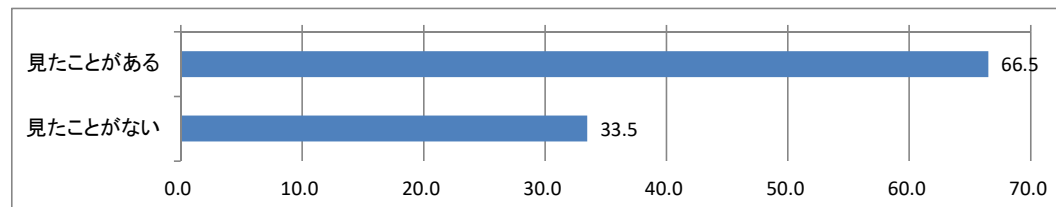
問12 金沢市内で開催されている工芸のイベントや展覧会（KOGEIフェスタ！、金沢21世紀工芸祭、KOGEI Art Fair Kanazawa、金沢市工芸展など）に行ったことはありますか

回答	人数	%
4か所以上行ったことがある	5	2.4
2～3か所行ったことがある	32	15.3
1か所行ったことがある	24	11.5
知っているが行ったことがない	66	31.6
工芸のイベントや展覧会を知らない	82	39.2



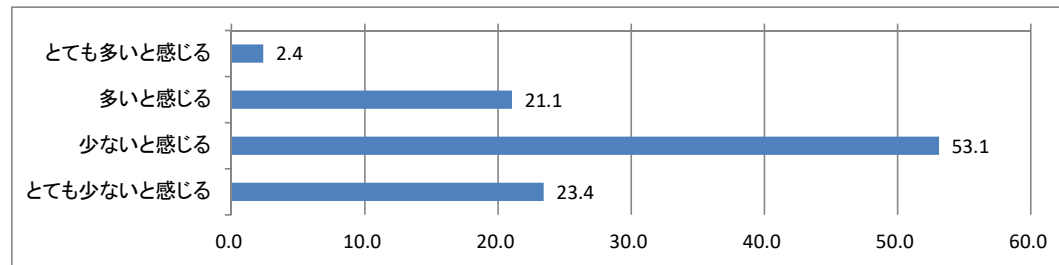
問13 金沢市内の飲食店等で金沢の工芸品が使われているところを見たことがありますか

回答	人数	%
見たことがある	139	66.5
見たことがない	70	33.5



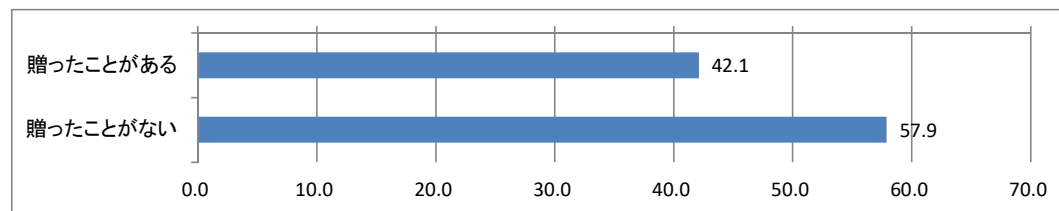
問14 子どもが工芸に触れる機会が多いと思いますか

回答	人数	%
とても多いと感じる	5	2.4
多いと感じる	44	21.1
少ないと感じる	111	53.1
とても少ないと感じる	49	23.4



問15 家族や友人などのプレゼントとして工芸品を贈ったことがありますか

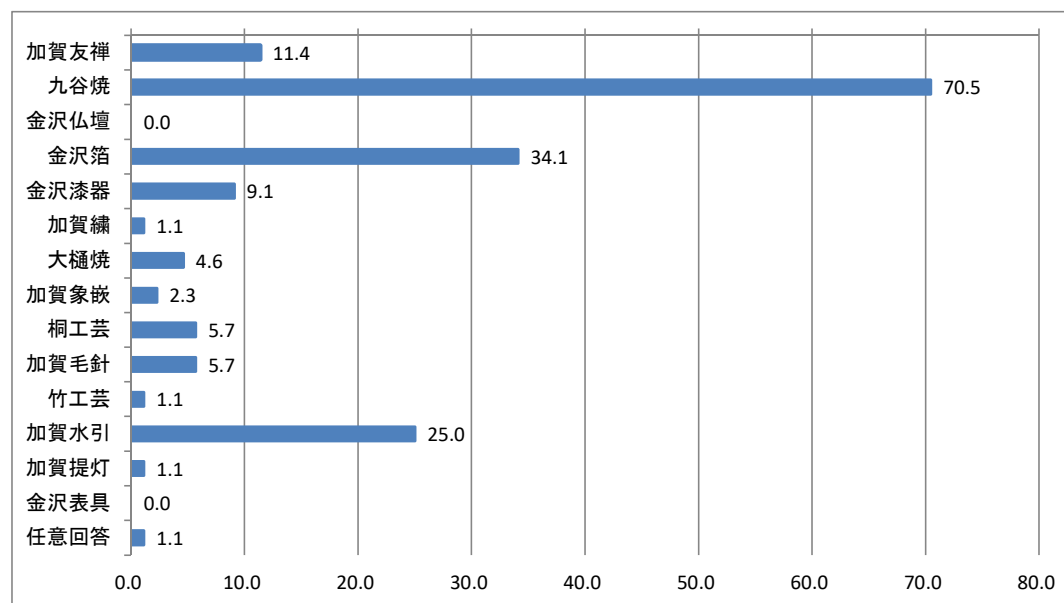
回答	人数	%
贈ったことがある	88	42.1
贈ったことがない	121	57.9



問16 (問15で「贈った」と回答された方) プレゼントした工芸品はどれですか (複数選択可)

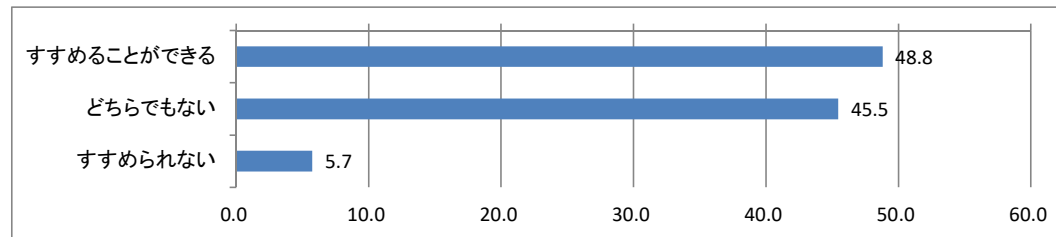
n= 88

回答	人数	%
加賀友禅	10	11.4
九谷焼	62	70.5
金沢仏壇	0	0.0
金沢箔	30	34.1
金沢漆器	8	9.1
加賀繡	1	1.1
大樋焼	4	4.6
加賀象嵌	2	2.3
桐工芸	5	5.7
加賀毛針	5	5.7
竹工芸	1	1.1
加賀水引	22	25.0
加賀提灯	1	1.1
金沢表具	0	0.0
任意回答 ・つまみ細工	1	1.1



問17 市外の人に、金沢の工芸品の購入をすすめることはできますか

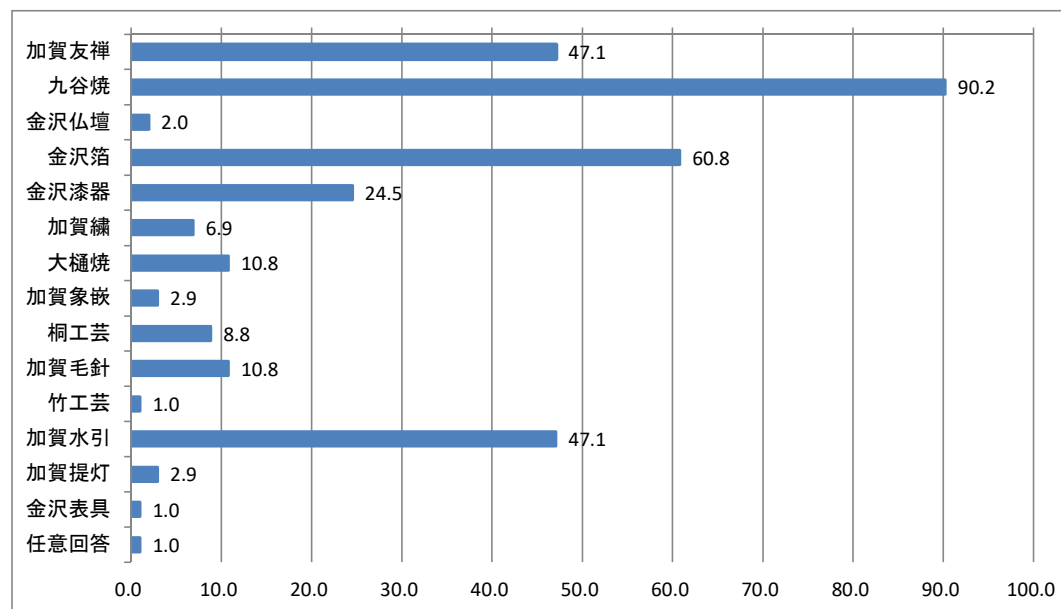
回答	人数	%
すすめることができる	102	48.8
どちらでもない	95	45.5
すすめられない	12	5.7



問18 (問17で「すすめることができる」と回答された方) 市外の人に購入をすすめたい工芸はどれですか (複数選択可)

n= 102

回答	人数	%
加賀友禅	48	47.1
九谷焼	92	90.2
金沢仏壇	2	2.0
金沢箔	62	60.8
金沢漆器	25	24.5
加賀繡	7	6.9
大樋焼	11	10.8
加賀象嵌	3	2.9
桐工芸	9	8.8
加賀毛針	11	10.8
竹工芸	1	1.0
加賀水引	48	47.1
加賀提灯	3	2.9
金沢表具	1	1.0
任意回答 ・和傘、二俣和紙の葉書・便箋、 郷土玩具、加賀友禅の手拭・マスク	1	1.0



問19 金沢の工芸について、ご意見等ありましたらご自由に記入してください

高価で使い勝手が悪い。
大人になり工芸の素晴らしさを感じるようになった。体験したり、見学したいと思うがどこに申し込みしたらいいのかわからないので分かりやすくCMとか流してくれたらいいなと感じます。子供(幼いときから)工芸の文化の素晴らしさをよくわかるように体験したり触れたり出きるような何かあれば連れていきたい。触ったら壊れてしまったり騒いだら迷惑と思うとなかなか連れて行くのが億劫になるので。
子供が小さく、高価なものなので触らせられないかな。
全般に美しいと思いますが、高価なものが多いので、暮らしに取り入れる経済的余裕はありません。けれども見ることは好きなので、イベントなどの機会があれば見に行きます。今年の秋の工芸フェスのようなイベントで、いろんな作家さんの発表の場があるのは、愛好家の裾野を広げるためにも、いいと思います。
地元にいるとあまり有難味も、珍しさも感じにくいのですか、観光産業といろいろ共有して、維持・発展させていってほしいと思います。
金沢の生まれ育ちですが、それでも金沢のものは高価なイメージがあって、もっと気軽に使えるようなものがあれば、若い人にも手に取ってもらえるような気がします。しかし、高価ということがいいという観光客の人も多いかもしれませんが。
琴、三弦、銅鑼、和傘もあるが、愛好者に限度がある。美術工芸品とクラフトを区分して、展示会やPRを考えることが肝要。
工芸について興味がありません。
県外へ工芸品の良さをもっとPRが少ない様に思います。
日常使いがしにくい使い勝手の悪さを考えてしまいます。引き出物で貰ったこともあります、使わないで物をしまっています。勿体ないですし、これを機にだして使ってみます。
何故【金沢の工芸】に拘わられるのですか。輪島塗・九谷焼等を含め石川県全体での工芸品の盛り上がりが必要だと思います。
金沢の工芸の魅力をマスメディアでもっと伝える様にしてくれたら興味がわくと思います。
良いものだと思うが、選択肢の多い中、金沢工芸でなければいけないという理由が見当たらない。高くても買って使いたいと思えるようなアプローチができればよいと思うのですが。(具体的な案は思いつきません)
高価なので、なかなか買えないし身近にもない。観光客の方が購入する気が、する。
工芸に関するイベントのお知らせする機会・方法を再考し、もっと多くの市民に伝わるようにしていただきたいです。
もっとPRIに力を入れることが、必要ではと思います。
一部の市民に特化しており大衆的に迎合されない商品が多い。伝統も大事だが庶民に購入意欲を沸かせるアレンジも必要で若い感覚、新しい感覚を持った現代人の職人さんの奮起を望みます。
長く使えて、愛着が湧きます。
九谷焼、加賀友禅は世界に誇れる金沢工芸だと思っています。
日々の生活の中で利用頻度の高いもの、我が家では食器類は九谷焼が多いですが毎日目にする事で、また違ったデザインのものを購入したくなります。最近水引きアクセサリー等の販売を見かけます。とても素敵なデザインのものなど使ってみたくなるものが多いですね。友禅などは高価なものなのであまり普段使いはできないですが、ほんの少し生活に生かせる工芸品は取り入れていきたいと思っています。
金沢の伝統工芸品はどれも素晴らしいものばかりですが、もったいなくて普段使い出来ません。
何か庶民には遠い存在の気がする。実用性？金額？
工芸祭など、沢山触れる機会があり嬉しいです。アクセサリーや子供用、普段使いにと工夫を凝らしてあり素晴らしいです。玉匣さんでよく購入します、他にも上出長右衛門釜さんの九谷焼、広瀬さんの水引、香田まさえさんの子供用の九谷焼がお気に入りです。
伝統を継承する事は、大切だと思います。加賀友禅を販売している友人は、若者の着物離れを嘆いていました。伝統工芸が、廃れない為には、若者がもっと気軽に工芸品に触れる機会を増やす事が大切だと思います。
アニメコラボなど、現代のニーズに合ったものがあれば、もっと普及すると思います。
金沢の工芸についてあまり親子で触れ合う機会がないので、親子で楽しめるイベントを企画してもらえると嬉しいです！
加賀友禅は持ってはいますが、着物自体今は着る機会がなくタンスの肥やしです。使いやすいようにリサイクル等あればいいと思います。
金箔は全国的に認知されているが、それ以外は金箔に比べて認知度は少ないと思う。それを売り出したほうが良いのか、分かる人にさえわかっていて欲しいのか、それすらも私はわからないです。
日常使いが出来るようもう少し安価だと嬉しいです。
自分自身が工芸について分かっておらず、金沢に住んでいるのに歯痒い思いがします。観光客は勿論ですが、地元民にこそアピールする事も必要かと思っています。
加賀の星野リゾート界に行ったときに温泉の壁に九谷焼などの紹介があったり、食事の際に食器で使われていたり、とてもいいなと思いました。同じように金沢のホテルや旅館などでも積極的に紹介や使用をしてもらうことで、金沢市民だけでなく旅行者など多くの人に触れてもらえるのではないかと思います。
イベント等で体験があれば参加したいです。
近年見直されてきているなあと感じています。特に、工芸品をオシャレと考える人が増えているのではないかとインスタグラム等を観て思っています。今のこの流れを断ち切らないように、積極的に工芸品が人の目に触れるようにしてほしいと思います。
加賀友禅や九谷焼や金箔工芸はネームバリューがあり、子供も知っているが、そのほかに関しては、子供たちさえも知らないと言う。もっと小学生や中学生時代に、上記以外の工芸に触れ合えたら、今後の後継者も増えると思う。



金沢の工芸は立派なものが多くありますが、昔みたいに気軽に買うことが出来ない。子供のころには近所に大場松魚さんが住んでいて祖父の時代には購入していたものですが徐々に単価が高くて日常に使うことが出来なくなりました。普段使いより贈答品になってしまいました。身近なものにならないと中々普及しないと思います。
このアンケートで、希望すればそれぞれの場所で体験することは出来ますが、生活の中にはないような気がしました。これだけの種類があるのなら、一度見てみたいです。
アンケートを通して、金沢に沢山の工芸品があることを知った。
今年はコロナの影響で主人の仕事が暇になり、土日は四六時中一緒におり、息が詰まるので、気晴らしにと県内の文化施設に行きまくっている。そのお陰で、これまでそれ程興味が無かった工芸品も目にする機会が増え、先日、お椀を買い替えました。
金沢に限らず工芸品は高価で貴重なものとなり、日用品として使われず売れなくなり、作る人も少なくなり、さらに高価になる悪循環に陥っています。これからはもっと安価になって、購入し安くすることが肝要でしょう。
石川県の工芸の中で金沢の工芸は冴えない感じがする。伝統の技には魅力を感じるけれど、手ごろに購入できるような品には技を感じる事ができないので、工芸品を購入することはないと思う。
敷居が高いように思えるのは、高価だからだと思っています。子供の頃から身近に触れる機会があればもっと良いのではと考えています。
九谷焼は金沢の工芸なんでしょうか？ 寺井か加賀、小松方面だと思っていました。いわゆる工芸品は生活者の視点がなく、眺める物、鑑賞する物だという感じです。したがって日常生活で使うもの、生活必需品ではないので、一般市民には遠い存在です。例えば、ダイニングのテーブルや椅子、スマホのケースやパソコン本体の外側、オーディオ製品(スピーカーボックス)など、日常で使うものに視野を広げなければ、いずれ衰退するか、ガラパゴス化がさらに進むだけではないでしょうか。失礼な意見をお許しください。
伝統ある工芸はお値段が高いイメージがあって、普段使いにはなかなか出来ませんが、家に箱に入れたまま眠っているモノをもったいないから使わないでなくて、どんどん使って生活に取り入れたいと思います。
私の弟が金沢箔を打っているが箔が出来上がる工程は良く見ている。小学生等に見せる事が出来たら良いと思います。
実際のところ、敷居が高くてなかなか参加できない。コロナが落ち着いたら、色々イベントに参加したい。
身近な生活用品では無いので、購入することは無い。
憧れはありますが、高そうでなかなか手が出ません。でも、九谷焼は欲しいと思っています。
歴史があり素晴らしい技であるのに伝統的な形や柄にしばられて新しいものを作る事に躊躇があるように思います。若い作家の作品にハッとさせられる事もあるのに作家だけでは食べていかれないのではないのでしょうか。九谷焼でプリントの柄がもてはやされてはいるが先はないし小さな柄の加賀縫ではお土産の域を出ない。工芸品は本格的だと高価でなかなか買えませんがコレというものを一つ持つとすればそれが本物だと言う格式のある印でもあればもっと興味をもって見る事ができると思います。
発信次第ではもっとうまくいくと考えます。金沢おでん金沢カレーのような発信に成功すると良いですね
伝統工芸館には行くのですが、こども向けの催しなどでは、かなりポップな雰囲気を作ってあり、どこからどこまでが伝統なのか、どこから創作なのか、あまりよくわかりませんでした。問18に挙げられている工芸はすべて興味があるので、一か所ですべて、代表作を見られるようだ嬉しいです。九谷焼き工芸村は、車が無いといけないうし、市内からは遠いので、アンテナショップのようなものが、香林坊あたりにあれば、便利だと思います。が、テナント代や運搬費などもあるし、難しいかもしれませんね。工芸品と職人さんの技が守られるよう、購入したい気持ちは強いのですが。
小松、能美の九谷焼の若い作家さんの作品が好きです。http://www.choemonshop.com/index.html
関心はあるけど価格が高い印象があり、敷居が高い。もっと日常生活に応用できる品々があってもよいと思う。先日、国立工芸館を見学したが、素晴らしかった。
金沢の大切な文化であり、加賀毛針、九谷焼等身近な生活の用品で小さいころには、日常的に使っていたと思います。本来の金沢の工芸の味を大切に守って、現代風にもアンンジ、コラボしてやって頂きたいと思います。頑張ってください。
正直、値段が高いイメージが強い。観光客相手のものという印象もあり、無理して買わなくてもと思う。
九谷焼なら加賀地区、塗り物なら輪島地区という先入観が私にあります。金沢なら箔、水引、友禅などがあります。工芸についてはオール石川で、各地区の分業体制がいいと思います。なにもかもオール金沢には私は反対です。
観光客は多少高くても記念に購入されますが、一般生活者では敷居が高いイメージがします。今回のアンケートでつい近くにいながら貴重な品々であったり、体験できる場所もあるので、コロナ禍が終息したら子供と訪れてみたいです。
自身が知らずにいる事が多いが、後世にも残したい資産になると思う為、日常生活に取り入れられるような品物については積極的に取り入れていかなければと思う。
能楽の能面も金沢の工芸品としてほしい。金沢には全国でも稀な能楽美術館があり、そこで開催されている能面展は貴重だと思います。
クラフト広坂で加賀でまり 指めき等を見て自分の趣味に役立てています。
生活の中で使うものであり、特に取り上げてみせびらかしたり自慢するものではないと思います。生活の中で潤いや感情を注入するだけで良いのかと思います。
触れる機会がありません。
九谷焼の知名度は確かに高いが、興味の無い人には名前だけは聞いたことがあるような状態であろう。その他は全国的にはほとんど名前を知られていない。知らないものは無いのと同じなので、上手に情報発信をしていく必要がある。
金沢の工芸品は高価なものというイメージがあるため、あまり一般人は関わる事が無いと思う。伝統と文化に重きをおいている印象で、目的や使用が先記の考えの意識の高い方や生活にゆとりがある方が中心だと思う。普段使いで手軽に利用して欲しいという促進活動も伺えるが、「金沢」というブランドを意識し過ぎているため、まだ、無理のない日常生活などで利用する方が少ないと思う。
高価なイメージがあるので、なかなか手が出ない…もう少しリーズナブルな工芸品なら使い勝手がいい。
市内にあるところは観光客向けというイメージ。もっと郊外に建物を作って、地元民の身近な場所にあると良いなと思います。
金沢の美しい工芸品に興味はありますが、日常にはお高くでなかなか手がでませんが、子供が学校や町のイベントでたくさん体験する機会があって金沢は本当に良い街だと思います。
沢山の工芸品がある金沢、もっと多くの人にみてもらえるような企画やイベントの周知に力を注いでほしいものです。

<p>金沢には工芸がたくさんあるけれど、日用品として普段使いできるものは、九谷焼や漆器くらいかなと個人的には思います。あとは敷居が高いイメージで、美術館やホテル、駅などの施設で見ることはあっても購入までには残念ながらいりません。しかし国立工芸館でもできましたので、市民の方も今まで以上に工芸に触れる機会も多くなるでしょう。これから工芸を身近に感じられるようなワークショップや即売会などもどんどん開催してほしいです。</p>
<p>最近、水引のアクセサリーがたくさん出ていて、とても普段使いしやすいし、かわいい。九谷焼のイヤリングやピアスなども、探せばかわいいのがあるのかな？と思う。昔より、敷居が低くなって手に入りやすくなりうれしい。</p>
<p>金沢市に住んでいますが、あまり触れる機会がないです。どんな特徴があるのか、何があるのかもよくわかっていなかったです。これから気にかけていきたいと思います。</p>
<p>高級というイメージがあり、気軽に贈りにくくもあります。</p>
<p>現代生活に合わせた工芸品の在り方を新たに発掘する必要があるのかもしれない。</p>
<p>身内に金沢の工芸に携わっているものがあるので身近に接してはいるが、それでも日常の中では使いにくいです。山中漆器並みにレンジでもOKや九谷でももっと現代に自然に馴染むようなものをもっと提供してほしい。</p>
<p>あまり触れる機会がないですが、誇りに思います。</p>
<p>気軽に工芸にふれる教室をもっと増やして欲しい。</p>
<p>あらためて見ると、金沢の工芸品は多岐にわたるけれど、日常的に使うものは少ないとわかった。新しい工芸品として、普段使いできる物を開発してほしい。</p>
<p>繊細で美しい水引や、九谷焼が好きなので、もっと普段使いしたいと思います。ただ、どこで手頃に購入できるのかわかりません。工芸品＝お土産品という印象も強いです。</p>
<p>金沢工芸品を一堂に集めて鑑賞できる施設があればいい。地元の人たちにとっても、観光客のためにも。</p>
<p>値段が高額そうで、簡単にお店に行く気持ちになれません。また、敷居が高い感じがします。日常で使うには、難しいのが現状かと思います。</p>
<p>国立工芸館が移転してきたのを機会により一層、多くの人が金沢の工芸に触れることが多くなるのではと期待しています。また、先日テレビで、若い後継者の活動を紹介していて好ましく見ました。工芸品だけを作り続けて生活ができるようになってほしいものです。</p>
<p>九谷焼は美しく、素晴らしい。しかも身近に使うことができる。誇れる工芸だと思う。贈ると、誰にでも喜ばれる。</p>
<p>日常生活に必要性を感じないものがほとんどだ。</p>
<p>もっと身近に体験教室があったら必ず行くと思います。(地区の公民館など)</p>
<p>金沢の工芸品は好きだが、あまり日常的には使えないように思う。記念品や他の地方へのお土産等に利用している。孫と体験に行っています。工芸に触れるいい機会だと思います。</p>
<p>子供達は、学校から工芸に触れる機会があり、とても良いと思います。大きくなった今、私も工芸館に行くことがなくなりましたが、実家に行った時は、見に行きます。水引は、家に飾りとしておいてあります。身近にちょっとした工芸品があるのは、心なみます。</p>
<p>街中より車で気軽に行ける郊外にあればと思う。制作体験の参加が行きやすい。</p>
<p>ブランド価値は維持しつつも、日常で気兼ねなく使用できる手頃なお値段のものがあるといいなと思います。</p>
<p>20年以上前、私は加賀友禅の端切れでティッシュケースを作りました。お手頃価格でこういう普段使いが出来る、お土産だけではなく自分買いも増えて、生産者側も購入者側も両方が満足する結果になると思います。</p>
<p>工芸品は日常生活用品としては使いにくい面があり、距離感がある。また、工芸品は趣味の世界の話のように思ってしまう。</p>
<p>金沢に来て6年目ですが、あまり触れ合ったことがないので、これを機に少しずつ触れてみたいと思いました。</p>
<p>金沢工芸品の良さおよび他の物との違いを市民に解かりやすくPRして、違いの分かる市民を育てるべき。</p>
<p>魅力あるものが多々あるので、上手く発散出来たら良いと思う。</p>
<p>和の要素が強くないもので日常でも使えるものがあるといいです。</p>
<p>高価なイメージがありなかなか触れる機会がないが、体験してみたいとは思っています。</p>
<p>若手の作家さんなどが頑張っている様子を新聞やテレビで知ることがあるので、そういった作品を扱うお店が、もっと身近にあるといいなと思う。子どもたちにもどんどん使わせたいが、値段を考えるとそうそう買えないのが残念。値段の幅がもっとあるといいと感じる。</p>
<p>今回のアンケートで金沢の工芸について知らないことばかりだと気付きました。名前は知っていても、普段使い出来ないイメージなので、自分には関係ないと知らず知らず思っていたのかもしれない。もっと生活に身近になるようであれば良いなと思います。</p>
<p>日頃から、使えるものとしてはあまり無く、気を使った方への贈り物として考えています。庶民が気軽に使える商品は少ないと感じています。</p>
<p>金沢工芸を全国にアピールするため、もっとYouTube等のネットの活用が必要です。</p>
<p>1 金沢の工芸に関する施設が中心部にあり、車で行くのに不便である。2 イベントについても車で行く施設だと便利である。3 正直言って、金沢漆器・加賀繻・桐工芸・縦工芸・加賀提灯・金沢表具については全く知らない。</p>
<p>九谷焼は色鮮やかで美しく丈夫なので普段使いにしていると毎日気分が明るくなります。</p>
<p>金額が高すぎて我々には手がだせないイメージがある。またものか良すぎて手入れも上手にできるか不安がある。</p>
<p>イベントなどはテレビなどで宣伝してもらえれば、興味もわくと思います。学校などでは、工芸品などの体験などをしているので子供達の方が詳しいかも。</p>
<p>どれも伝統がありすぎて気軽に気持ちで触れることが少しためらうところがある。</p>
<p>普段使いできるものがあまりない印象です、私が勉強不足なだけかもしれませんが、若い子がよく行くような雑貨屋(アミグ、ルネ等)に、今風で少しお値段が安めの金沢工芸を置かせてもらってはいかがでしょうか。とにかく目に触れて触ってもらうことがいいと思います。</p>

高価なイメージがあるので、身近な物に思えない。
もう少しあか抜けてお手頃価格のものと助かります。
管理が難しく毎日、日常的には使えない。
知らない工芸をこれから色々体験してみたいと思いました。子供達にももっと工芸に触れさせたいです。
買いやすい値段にして欲しいです。
興味があるくせに展示してあるところに足を運んでまで見に行こうとしません。出かけた先で見かけたら見学します、それが土産物店であっても。金沢駅自体にあちこちあります。孫たちに是非見せたいです。
箔はり体験は価格的にも気軽にできるので、子どもと一緒にしました！とても良かったです。
金沢の工芸品を見る機会が増えています。国立工芸館ができたこともあり全国に金沢の工芸品を紹介し広める機会をもっと作っていただきPRして下さい。ただ日常の普段使いにするには高価で難しいのが現状です。
金沢は伝統工芸が盛んで、息子親子が来た時には体験施設に連れて行きますが、孫がまだ小さく体験はまだです。今年はコロナの影響で帰省できなかったため、帰省できる状況になれば、体験をさせたいと思っています。
加賀水引でピアスを作る体験をしたことがあります。若い人たちも参加していて、とてもいい体験会だったと思います。アクセサリーは金沢の工芸品を取り入れやすい物だと思う。
あまり身近に感じないのでもっと気軽に使えるものであるという感じになれば良いと思う。
加賀友禅の振り袖をもっているのが成人式に娘に着せたいと思っています。ゆのくにの森など、たまに工芸に触れさせています。いろんな工芸に触れるイベントをまたしていただけたらうれしいです。
金沢市以外の県内工芸は触れたことがよくあります。九谷焼は金沢市の工芸なのですか…輪島塗や大社焼きの工芸品を使っています。あまり身近に使うものという感じがせず、ハレの日のものというイメージが強いです。県外の観光客向けの工芸品です。地元の人にとっては難しそうなので観光客にアピールすれば良いと思います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。